



# そげっぱ通信

## 5月

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター  
曾慶字神蔭32-1  
☎ 0191-75-2244  
FAX 0191-34-6630  
Email: info@yuin-et-sogei.com

### 令和5年度 結いネットそげい総会 規約改正を含む案件をすべて可決



本人出席24名の代議員で行われた総会

「結いネットそげい」の令和5年度総会が5月19日に曾慶地区センターで開催され、各自治会から選出された代議員35名うち委任状11名が出席し、8日の理事会を経て提出された案件を審議しました。審議された案件は次のとおりです。

◎曾慶市民センター事業  
▽令和4年度事業報告並びに会計決算の認定について：曾慶市民センターは

指定管理移行後初の決算となり、1,607,903円の決算剰余金を計上し全額を繰り越しました▽令和5年度事業計画並びに収支予算について▽会費の額並びに納入方法について▽規約改正について名称の変更▽曾慶地区の行政区名を「洪民」から「曾慶」に変更することについての要望について

▽役員改選について

曾慶市民センター事業、及び結いネットそげい事業にかかると令和5年度事業の概要、及び5年度予算についてを次ページをご覧ください。その他の議案については、下記をご覧ください。議長は6区の菊池聡さんが務めました



#### ■結いネットそげい会費について

昨年どおり各戸200円ずついただくことを承認いただきました。

なお、ほとんどの自治会が便宜上、自治会予算からまとめて支出していますので、会費を支払っている実感がないかもしれませんが、各戸からいただいている会費ですので、ご理解をいただきたいと思います。

#### ■結いネットそげい規約改正について

「結いネット そげい」の表記を「結いネットそげい」に改めることで承認いただきました。(間の空白を削除しました)。

#### ■曾慶地区の行政区名を「洪民」から「曾慶」に変更することについて

昭和30年の市町村合併以来、曾慶地区の行政区名が「洪民〇〇区」とされてきたものを住所と同じ「曾慶〇〇区」と変更することについて市に要望するものです。

#### ■役員改選について

今年度は役員改選の年に当たることから、理事会で選出された次の皆さんが承認されました。

職名	氏名(行政区)
会長	足利徳夫(4区)・再任
副会長	佐藤律子(2区)・再任
副会長	菅原豊一(4区)・再任
副会長	佐藤 勉(2区)・新任
監事	畠山 潔(5区)・再任
監事	菅原玲子(6区)・新任

◎今回退任された前副会長の岩淵甲治郎さんは結いネットそげい立ち上げ前から約9年、前監事の千葉ひろ子さんは藤原京子さんから引き継いでから6年、曾慶地域のためにご尽力いただきました。たいへんお疲れ様でした。


新たに副会長になられた佐藤勉さんと監事の菅原玲子さんには、今後よろしく願いいたします。

◎会長の任命により事務局を務められていた菊池紀一さんと佐藤勝治さんは令和4年度をもって退任されました。結いネットそげい立ち上げ時から9年もの長い間、ご尽力いただきました。たいへんありがとうございました。

### 交通死亡事故ゼロ

#### 7,500日達成更新中!

■平成14年10月に滝尻付近で痛ましい交通死亡事故がありました。それ以来、20年あまりの間、曾慶では交通死亡事故がなく、4月で7,500日を達成し、現在も更新中です。



《曾慶市民センター 令和5年度事業計画及び収支予算の概要》

◎事業計画の概要

市の教育振興基本計画に掲げる「人づくり」を目標に地域住民が求める多様な学習意欲に応じ、学習の機会を提供するとともに、主体的な地域づくり活動を支援していきます。

	項目	5年度予算	4年度予算	摘要
収入	指定管理料	14,283,000	14,662,000	指定管理料
	利用料等	154,778	154,000	施設利用料、印刷代他
	繰越金	2,432,222	0	前年度繰越金
	計	16,870,000	14,816,000	
支出	人件費	9,705,000	8,931,000	給与2名分、賃金他
	施設管理費	4,767,000	4,918,000	光熱水費、賃借料他
	事業費	176,000	179,000	講師謝礼、需用費他
	一般管理費	2,222,000	788,000	委託料、予備費他
	計	16,870,000	14,816,000	

《結いネットそげい 令和5年度事業計画及び収支予算の概要》

◎事業計画の概要

よりよい地域づくりを進めるため、市の地域づくり交付金を活用し、各チーム等の事業を主体に、自主事業や市民センターとの共催事業等を進めます。

	項目	5年度予算	4年度予算	摘要
収入	繰越金	1,038,291	881,264	前年度より
	会費	67,000	68,000	200円×335戸
	委託料	20,000	20,000	農村公園管理委託料
	交付金	3,510,000	3,315,981	地域づくり交付金
	その他	709	755	雑収入
	計	4,636,000	4,286,000	摘要
支出	人件費	2,550,000	2,448,981	給与1名分他
	事務費	150,000	140,000	事務用消耗品他
	事業費	1,688,000	1,550,000	各チーム他事業費
	その他	248,000	147,019	慶祝費、予備費他
	計	4,636,000	4,286,000	

※ 詳細については、別に回覧している総会資料をご覧ください。

電気新聞主催「電気のある生活」写真賞

**足利義信さんが最優秀賞**

6区の足利義信さんの作品が一般社団法人日本電気協会新聞部(電気新聞)主催の第69回「電気のある生活」写真賞で見事、最優秀賞に選ばれました。同写真賞は、1955年から続く歴史あるコンテストで、全国581人から1,680点の応募があり、その中の頂点に輝きました。『寄り添って』と名付けられた作品は、陸前高田市にある『奇跡の一本松』が漆黒の夜空と建物の黄色をバックに青色に照らし出され浮かび上がった様子を写し出したもの。足利さんは、ウクライナの国旗と同じ配色に世界平和の願いを込めた一枚の受賞に喜びをかみしめていました。



長年挑戦し続けた賞だけに喜びもひとしおです

石と賢治のミュージアム「ほんわかギャラリー展」

**手まりの会が展示とWS**



足利千代子さんが講師を務めたワークショップ

5月13日から21日にかけて東山町の『石と賢治のミュージアム』で「手まりの会」の手作り作品展が開催されました。昨年に引き続いての展示となった同展では、来館者がつるし雛や藤の花、干支の動物や老夫婦の人形など、さまざまな作品の数々を楽しみました。また、最終日には同会の足利千代子さん(5区)が講師となつての手作りワークショップ「かわいいカエルをつくろう」を開催。12人の受講者がカエルの布細工を制作し、楽しい時間を過ごしました。

●大東地域市民センター合同事業

# 室蓬カレッジ

今年度の室蓬カレッジは、「歴史」「郷土史」「文学」の3講座を開設します。

1. 歴史専門講座「ふるさと再考～郷土の歴史・文化・ゆかりの人物を訪ねる～」  
(担当：大原市民センター)
2. 郷土史講座「我が郷土を見つめ直す」  
(担当：猿沢市民センター)
3. 現代文学講座「郷土出身作家と芥川賞作家の作品を読む」  
(担当：渋市民センター)

◎5回ずつの講座です。それぞれ移動研修もあります。

### 【申込方法】

別紙講座案内の申込書に必要事項を記入し、お近くの市民センターへお申し込みください。  
※詳しくは別紙の講座内容をご覧ください。

## ホタルを見つけに行こう

今年度もホタルの見頃の期間内に自由に観賞していただく形にします。

### 【ホタルの見頃時期】

- ◆期間…6月13日(火)～7月7日(金)頃
- ◆時間帯…午後8時過ぎ

※気温が高く、湿度が高い時によく観れます。

- ◆会場…曾慶地区センター南側駐車場

※ホタルをより観やすくするため駐車場の水銀灯は消しておりますので、足元には十分に気をつけてホタル観賞をしていただきますようお願いいたします。

### 【観賞上の注意点】

園児や小学生は必ず保護者同伴でお願いします。会場内での事故等については自己責任です。虫に刺されないよう、長袖の服を着たり薬を塗るなど対策してください。

## スマホ教室参加者募集

5月の広報でお知らせをしましたが、6月6日(火)午前中と午後の2回、スマホ教室を開催します。スマホを買ったけれど使い方がわからない方、もっと色々な機能を使ってみたい方など、どなたでも参加可能です！スマホを持っていない方でも参加出来ますので、興味のある方はぜひご参加ください。

### 【お問い合わせ・申込み】

曾慶市民センター ☎75-2244



# おたのませ

## 興田をレッツ・ウォーキング!

令和5年度最初のウォーキングは、興田方面を歩きます。人々から「お妙見さま」と呼ばれる1,300年あまりの間、地域の信仰のよりどころとなっている興田神社にも立ち寄ります。

昼食は京津畑の山がっこで清庵弁当をいただき、施設見学もします。

- ◆日時…6月30日(金)9:00出発～14:00予定

- ◆集合場所…曾慶地区センター 8:50までに

- ◆参加料…1,100円(昼食代)

- ◆申込期限…6月26日(月)まで

※ 詳しくはチラシをご覧ください

## 春の剪定教室を開催

恒例の剪定教室を開催します。市民センター周りの庭木を教材に、樹木の特性に応じた剪定の仕方や道具の手入れの仕方を学びます。

- ◆日時…6月21日(水) 9:00～11:30

- ◆会場…曾慶地区センター

- ◆参加料…無料

- ◆申込期限…6月14日(水)まで

※ 詳しくはチラシをご覧ください



### 曾慶のお宝伝承プロジェクト共催事業

## 曾皆の真実を訪ねて 移動研修

「曾慶」の名前の由来と云われている「曾皆(そかい)太郎」は、曾慶の岩穴に住み、良民を苦しめていたため、蝦夷の酋長、阿弭流為(あてるい)と共に坂上田村麻呂将軍によって征伐されたとされていますが、その真実は…?

田村麻呂が造営した胆沢城址を展望しながら関係資料等で曾皆の真実を探ってみませんか?

- ◆日時…6月12日(月) 8:20～

- ◆視察先…奥州市埋蔵文化財調査センター、えさし郷土文化館、黒石寺 他

- ◆参加費…2,000円(入館料、昼食代等)

- ◆昼食は「えさし藤原の郷」のレストランでいただきます。

### 【お問い合わせ・申込み】

曾慶市民センター ☎75-2244

## 農機バンク

スペースの関係で今月は掲載できませんが、不要な農機がある、または欲しい農機がある方は、市民センターにある台帳をご覧ください。

# そげいびと

## ⑬ 足利千代子さん(75) ~曾慶字神蔭~



仙台で縫製を学び  
仕立ての仕事を経験

5月13日から21日まで東山の『石と賢治のミュージアム』で開催された手まりの会の作品展の最終日に「かわいいカエルをつくろう」というワークショップが行われました。その講師を務めた千代子さんは「初対面の人も多かったけれど楽しい時間でした」と笑顔で振り返ります。

千代子さんは高校卒業後に仙台にある裁縫の専門学校に進学。1歳年上である夫の勲さんは同じ仙台の経理学校に在学していて、出会いのきっかけとなりました。学校の先生の紹介で仙台のデパートで仕立ての仕事をする2年間勤め、結婚のため曾慶に帰り足利家に嫁いだのが23歳のとき。当時は3世代が同居する大家族でした。「縫物以外何もできなかった私を温かく迎え、いろいろと教えてくれた義母さんたちには感謝してもきれない」と語ります。家事や農作業の合間には大好きな手

芸を行い、曾慶にはその仲間や先生もいますが「あまり表に出るのは好きではない」と話し、手まりの会では技術で会を支えます。義父さんの計らいで、興味があった舞踊も30年習うことができました。その間、師匠さんの舞台衣装の縫製も任せられ、やりがいを感じたそうです。

### 曾慶の暮らしは 人に恵まれ幸せそのもの

仙台に出た頃は、帰ってくるつもりはなかったそうですが、「良い人たちに恵まれ、曾慶に帰って来て本当に幸せ」と故郷に連れ戻してくれた勲さんに感謝の言葉を述べます。昨年はアキレス腱を切る大けがも経験し、勲さんや千代子に嫁いでいる娘さんが献身的に支えました。

交通会社に勤めながら、交通安全協会の分会長も務め多忙を極める勲さんは家を空けることも多いですが、勲さんが添乗する旅行に同行するというご褒美もしばしば。「一生懸命働いてもらっているから、お父さんがいないうちが家のことをやらない」と話しながらも、勲さんがいるときは一緒に農作業も楽しみのひとつです。勲さんも千代子さんのことは「感謝している」とポツリ。

今年結婚50周年となり、家族で予定している金婚式にも想いを巡らせます。お互いに感謝と気遣いを忘れないう、素晴らしいご夫婦と感じました。

## 曾慶の人口と世帯数

令和5年5月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	27	35	27	62
2区	69	98	94	192
3区	55	69	79	148
4区	49	67	75	142
5区	65	78	70	148
6区	40	64	58	122
7区	29	43	41	84
13区	33	49	41	90
こはぎ荘	47	17	30	47
合計	414	520	517	1035
前月比	2	△2	△2	△2



## 曾慶百景 秋葉神社

あきはしんじや

13区の大森にある「種蒔桜」の近くにある神社です。市道から上に見える木の鳥居を目印に石段を上がると、すぐに小さな社がひっそりとあります。手入れが行き届き、地域の人々に大切にされてきた様子うかがえます。「秋葉神社」は静岡県の秋葉山を神体山とし、火防の神様として信仰されています。秋葉神社は神社本庁の傘下だけでも全国に400以上あり、小さなものを含めると無数の神社が各地に点在しています。